

| テーマ |

アンコールから世界を見つめて

— アンコール遺跡の修復、建築と現代文明の変容

| 講師 |

中川 武

Takeshi Nakagawa

早稲田大学名誉教授 / 博物館明治村館長

アンコール・ワット最外周壁内北経蔵(2005年竣工)



バイヨン北経蔵の修復工事現場の様子1996年頃(1999年竣工)



アンコール・トム王宮前広場ブラサート・スーブラN1塔解体修復工事中2001年頃(2005年竣工)



OPEN COLLEGE

| 主催 | 一般社団法人 東京建築士会

銀座建築デザイン大学

東京建築士会では、建築情報を提供しながら建築士制度の普及に努めています。その一環として、様々な視点から文化・教養・技術面での事業を企画しており、「銀座建築デザイン大学」と題した連続講座を開催しています。当セミナーでは、私たち建築士の日常業務に欠かせない知識であるにも拘らず、比較的取り上げられる機会が少ない内容や最新情報が得にくい課題・テーマに建築をベースに、周辺のデザインを含めて若い方々や学生にも多数参加いただけるよう、大家から新進建築家、伝統工法や異業種等の様々な方々をお招きしています。今回は早稲田大学名誉教授の中川武氏を講師にお迎えして、アンコール遺跡の修復から現代の建築についてご講演いただきます。

2024年1月19日(金)

全国設計事務所健康保険組合 けんぼプラザ集会室

| 時間 | 18:30 ~ 20:30

| 参加費 | 本会正会員・準会員 2000円 / 一般 3000円 / 学生 500円

| 定員 | 60名(申込先着順) ※セミナーの性質上、対面開催のみといたします。

| CPD | 2単位

| コーディネーター | 渡邊 大志(早稲田大学創造理工学部建築学科准教授 / リンクアーキテクト主宰)

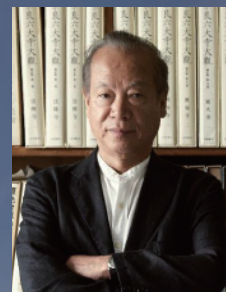
| 企画 | 東京建築士会 事業委員会

アンコール・ワット最外周壁内北経蔵(2005年竣工)

下記URLまたは二次元QRコードより申込ページにアクセス
いただき申込みのお手続きをお願いいたします。
お申込みには、「Peatix」の登録が必要です。
<申込URL> <https://20240119ginza.peatix.com>



PROFILE



中川 武

なかがわ たけし

1967年 早稲田大学建築学科卒業後、大学院にて建築生産史、建築表現論、日本建築設計技術史の研究に従事。建築史研究と現代建築の批評との関連に関

心。1975年より早稲田大学古代エジプト調査研究に参加。1980年より早稲田大学建築史中川研究室によるアジア建築史研究に従事。1994年より日本国政府アンコール遺跡救済チーム団長。ベトナム・フエの歴史的建造物群の調査と保存修復技術研究に従事。

【著作】

中川武監修『バイヨン寺院全域の保存修復のためのマスタープラン』(2005年/JAS AASA)、中川武著『日本の家』(2015年/角川ソフィア文庫)、中川武監修『アンコールから世界へ』(2019年/JAS AASA)、中川武編著『世界建築史ノート「人類の夢」で巡歴する』(2022年/東京大学出版会)、中川武編著『アジアの仏教建築、仏陀の歩いた道には蓮の花が咲く』(2023年/丸善出版)

【保存修復】

バイヨン北経蔵の修復(1999年竣工)、アンコール・ワット最外周壁内北経蔵(2005年竣工)、アンコール・トム王宮前広場ブラサート・スーブラN1塔(2005年竣工)

ACCESS

全国設計事務所健康保険組合
けんぼプラザ集会室



所在地: 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-37-9

【交通アクセス】

- ・JR総武線「千駄ヶ谷」駅下車 徒歩7分
- ・都営大江戸線「国立競技場」駅下車(A4出入口) 徒歩7分